

事業所名

キッズサポートにじいる狭山

支援プログラム（参考様式）

作成日

2034 年

4 月

1 日

法人（事業所）理念	<ul style="list-style-type: none"> 子ども達が安心できる場所の提供 子ども達の選択肢を広げる支援 家族・学校・福祉サービス事業者との連携
支援方針	<p>【共通】</p> <p>■ 子どもの 5 年後・10 年後・20 年後の姿をイメージし、ご家族様・関係者の方々と共有しながら支援を行います。親の想い、私たちの想い、子どもの現実の姿と共に、その子どもが何を望んでいるのか、どの様な「夢」や「希望」があるのかが一番重要になります。例えば、その子の夢が突拍子もない事であったとしても、可能性は「ゼロ」ではなく、可能性を覆い求めた先に「新しい夢」があるはず。私はそこに寄り添いたい。私達は、子ども達の可能性を信じて一緒に「方法」「手段」「環境」を考えます。</p> <p>■ 子どもの可能性を広げ、選択肢を増し、自己決定を行う事を大切にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> その子に合った方法を考えて環境を整えます。 少しでも選択をする幅が広げられる様に、その子に必要な力を付けて行きます。 新しい選択肢が無いのか、作り出す事は出来ないのかを考えます。 <p>【児童発達支援と放課後等デイサービス】</p> <p>就学前の幼児期を受け入れる児童発達支援と、小学校～高校生が放課後に通う放課後等デイサービスを行っています。児童発達支援では、基本マンツーマンで支援を行います。数年後小学校に上がった時の事をイメージし、その時に必要な「出来る」を増やして行く支援を楽しんでいます。放課後等デイサービスでは、将来の生活をイメージして、身の回りの事と自己選択の幅が広がるように支援を行っていきます。どちらのサービスも共通して言える事は、子ども本人の姿をとらえ将来へとつなげていく支援を行います。</p> <p>■生活する力をつける</p> <p>食べる・歩く・伝える・聞く等・・・その力を伸ばして自分で出来る事が増やし、生活の中での自由度が高くなる為の支援を行います。</p> <p>＜移動する力＞</p> <p>自分の意思で移動するという事は、自分で選択していく事です。最終的目標が「移動」であれば、「歩行」をする機能、自助具や車椅子などの「手段」、移動をしたいという「想い」、様々な事柄が絡み合って初めて成立します。私たちは、その子に必要な力に働きかけていきます。その過程を家庭、学校、病院と連携して一緒に伸ばしていきます。</p> <p>＜自己表現＞</p> <p>例えば「自分の嫌いな食べ物」を口に無断で運ばれたら？とても嫌な気持ちになりますよね。言葉が話せなくても、表情が伝わりにくくても、自分の気持ちを少しでも相手に伝えられるという事は、理解して貰えることにつながると思います。大人になって色々な人の力を借りて生活する事になっても、自分の好みなど伝えられる事が生活をより豊かにしていきます。</p> <p>■連携</p> <p>子どもが通う学校、利用している医療機関の方々と積極的に連携致します。本人の将来をイメージした時に、本人を取り巻く環境と一緒に向き合い、協力しあわなければならないと感じています。それぞれの専門職の方々と将来のイメージを共有して行きます。</p> <p>■看護師の配置</p> <p>医療的配慮が行える事業所を目指します。看護師を配置する事で、ほんのわずかな医療行為がある事で利用が難しかった子や、利用していても緊急的な対応に不安の残る子どもの対応が行えるように環境を整えます。</p>
営業時間	<p>10 時 00 分から 19 時 00 分まで</p> <p>送迎実施の有無 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし</p>
支援内容	
健康・生活	<p>【サポート内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の習得（「歯みがきの順番を視覚カードで提示」「排泄のタイミングを声かけて習慣化」など） 生活を整える為の視覚的・聴覚的支援（「1日の流れの提示」「トイレ使用手順のイラスト掲示」などによる見通し支援等） 食事支援・栄養管理（「スプーン練習」「姿勢や嚥下に配慮した食事形態」など専門職と連携した支援等） 身体状態・健康管理（「吸引・導尿などの医療的ケア」「服薬管理」「体調変化の記録と連携」など） <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活に必要な基本的習慣（食事・排泄・清潔・睡眠など）を身につけ、自立した生活の基盤を整えます。心身の健康を維持し、安全・快適に過ごせるよう支援しながら、本人の生活リズムや生活力の向上を目指します。
運動・感覚	<p>【サポート内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大運動の発達支援（歩く、走る、跳ぶ、バランスをとる等） 微細運動の向上（箸やペンの持ち方、手指の緻密性を高める活動等） リズム運動（ダンスや音楽に合わせた運動等） 感覚統合の支援（ハンモックやバランスボール等活用した活動等） ボディイメージの向上（自分の体の使い方を理解する活動等） <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大運動や微細運動を強化し、体を思い通りに動かす能力を高めます。また、感覚刺激育成機能心身の安定を図り、運動を楽しみながら社会活動への適応力を養います。身体を使った成功体験を重ね、自信を育てます。

本人支援	認知・行動	<p>【サポート内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・応用行動分析を用いたアプローチ（問題行動の背景を分析し、望ましい行動に導く（例：回避行動への代替手段提示）等） ・構造化支援（活動の流れを見える化し、見通しと安心感を与え） ・感情調整支援（「怒っている」「悲しい」などを絵や表情カードで表現し、クールダウン方法を獲得する等） ・選択の機会の提供（「今日はお絵描きとパズル、どっちがいい？」など、選択肢を通じて意思決定力を育む等） ・社会的ルールの理解（「遊ぶ前に“貸して”って言おうね」など社会行動の基礎を習得する等） <p>【目的】</p> <p>環境や刺激を適切に理解・処理し、自分の行動を調整できる力を育むことです。日常生活の中で予測可能性を高め、安心感を得ながら、自己選択や意思決定を促し、問題行動の軽減や適応行動の獲得を目指します。</p>		
	言語コミュニケーション	<p>【サポート内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション手段の獲得支援（「飲みたい飲み物の絵カードを選んで伝える」「視線で文字盤を指す」「トーキングエイド使用」等） ・サインや身振りの導入（「“ありがとう”のサインを練習する」「“いやです”を手の動きで伝える」等） ・発語の支援（音声言語）（「言葉のリズム遊び」「名前を呼ばれたら“はい”と返す練習」等） ・受容言語の支援（理解）（「視覚＋音声での指示提示」「2つの選択肢から選ぶ練習」等） ・感情表現の支援（「表情カードを見て、自分の気持ちに合うカードを選ぶ」など感情理解の支援等） <p>【目的】</p> <p>本人の発達段階や特性に応じた伝え方・受け取り方を育て、相手と意思疎通できる力を身につけます。言葉だけでなく、ジェスチャーや絵カード、補助機器など多様な手段を活用し、自分の気持ちや要求を適切に表現できるよう支援します。</p>		
	人間関係社会性	<p>【サポート内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ・返答の練習（「“おはよう”と挨拶されたら、“おはよう”と返す」などのやり取り練習等） ・距離感・接し方の支援（「友達とは1メートルくらい離れて話そう」「いきなり触らない」などの視覚支援等） ・個別・小集団での関係づくり支援（信頼関係を築ける関係（支援者・友人）を軸に、段階的に交流の輪を広げる等） ・他者への共感や協力の体験（「一緒に積み木を完成させる」「“ありがとう”を言う場面を作る」など共同作業等） <p>【目的】</p> <p>・他者との関わり方や集団の中での適切な行動を学び、安心して人と関係を築く力を育てます。あいさつや順番、気持ちの伝え方、距離感など、社会生活に必要な基礎的スキルを体験的に身につけ、他者との信頼関係や社会参加につなげていきます。</p>		
家族支援		<p>【サポート内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別面談・相談支援（育児の悩みや発達に関する相談対応） ・家庭での関わり方のアドバイス（声かけ・遊び・学習支援の方法） ・ペアレントトレーニング（子どもとの関係構築や対応スキルの向上） ・家族同士の交流会・勉強会（保護者向けの情報共有やネットワーク構築） ・きょうだい支援（障害のある子どもの兄弟姉妹への心理的ケア） <p>【目的】</p> <p>保護者が子どもの成長をサポートができるよう支援し、家庭全体で子どもを支える環境を作ります。</p>	移行支援	<p>【サポート内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進学・進路相談（学校選択や適応支援） ・職業体験・実習の協力（企業・作業所での実習） ・日常生活スキルの向上（通学・通勤の練習、金銭管理など） ・病院との連携（カンファレンス実施・リハビリ見学） ・学校との連携（特別支援学校の担任と年1回以上情報交換） <p>【目的】</p> <p>・将来の進学・就労に向けて、サポートを行い社会の中で自立できる力を養います。</p>
地域支援・地域連携		<p>【サポート内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の福祉・教育機関との連携（学校・児童相談所・医療機関との連携） ・地域イベントへの参加（お祭り・スポーツ大会・ボランティア活動など） ・地域ボランティアの受け入れ（学生や地域住民との交流） ・企業・福祉団体との協力（職業体験や社会参加の機会の提供） ・地域の支援リソースの紹介（利用可能な行政サービスの案内） <p>【目的】</p> <p>・地域社会と連携しながら、子どもたちの社会参加を促進し、将来の自立につながる支援体制を構築する。</p>	職員の質の向上	<p>【取り組み内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な研修・勉強会の実施（発達障害・療育の最新知識の習得） ・ケースカンファレンスの実施（支援方法の共有・検討） ・外部研修の受講（他施設との連携や先進事例の学習） ・スーパービジョン・コーチング（経験豊富な指導者からのアドバイス） ・職員間の情報共有強化（定例ミーティング、記録の適正化） <p>【目的】</p> <p>・支援の質を向上させ、子どもたちに最適な支援が提供できるよう、職員のスキルアップを実現します。</p>
主な行事等		<p>■ 夏祭り</p> <p>夏まつりは、季節の行事を楽しみながら、利用者が主体的に参加し、社会性や選択する力を育むことを目的とした取り組みです。職員が手作りした屋台（ヨーヨー釣り・的あて・かき氷など）をまわり、自分で選び、体験し、達成感や喜びを感じられるよう工夫されています。音楽や飾り付け、浴衣の着用なども取り入れ、視覚・聴覚・感覚への刺激を通じて、季節感を味わう楽しいひとときを提供します。</p> <p>■ クリスマス会</p> <p>クリスマス会は、冬の季節感を楽しみながら、他者との交流や感謝の気持ちを育むことを目的に行われます。職員手作りの飾りやプログラムの中で、サンタクロースの登場やプレゼント交換、クリスマスソング、ゲームなどを楽しみます。参加者ができる範囲で役割を持ち、成功体験を積めるよう工夫されており、非日常的な雰囲気の中で笑顔と安心感が生まれる、心温まる行事です。</p> <p>■ 祝日特別プログラム</p> <p>祝日プログラムでは、日常とは異なる体験を通じて生活力や社会性を育むことを目的に、調理活動や果物狩りなどの外出を実施します。調理では、材料の準備や混ぜる・盛り付けるなど、自分に合った役割を持ち、達成感を味わえるよう支援します。果物狩りや公園などへの外出では、公共マナーや順番を守る体験を通じて社会参加を促進します。季節感を感じながら、五感を使った豊かな学びと楽しい思い出を提供する行事です。</p>		